

アニモ 風信帖

株式会社 アニモ出版

〒162-0832 東京都新宿区岩戸町 12 レベッカビル

TEL 03-5206-8505 / FAX 03-6265-0130

そろそろクリスマスセールのご準備ですか？

ハロウィンが終わり、早くもクリスマスとお正月のお節料理のコマーシャルがアチラコチラで始まっています。今年はまだ1か月半もあるのに…、と思いながらも小社の今回のご案内も1月新刊。現在、12月新刊「図解でわかるフィンテック～」をご案内中ですが、正直あまりよくわかっていません。1月の「図解でわかるIoT～」もそうですが、ネットがらみの新しいテクノロジーには、拒否反応が優先してしまいます。知り合いの70歳代の経営者は、スマートフォンを使いこなし、新しい機種が出る度に買い換えていますので、歳のせいとばかりは言われていられそうもありません。ましてや、新しい技術や産業の発展をネタに食っていく版元の人間としては失格ではないか？と反省しつつも、本を読んでも、雑誌を見てもスナリと頭に入ってこないもどかしさ、じっとガラケーを視る、といった趣です。

どちらも専門家ではなく“一般ビジネスマン”向けのやさしい書籍にしてほしい、という小職のリクエストに応えようと奮闘中の編集長の力作です。「少し遅いかも?!」(都市部大型書店)、「言葉の意味もよくわからない」(郊外店)などと言わずに、並べてみてください。話題になっていても、案外わかった振りしてわかっていない人も多いものです(小職のように)。よろしくお願ひ申し上げます。

アニモ出版売行ベスト10<2016年10月>

	書名	本体価格	発行年月
1	図解でわかる社会保険 いちばん最初に読む本 改訂3版	1500円	2016年3月
2	人事評価で業績を上げる!「A4一枚評価制度」	2000円	2016年8月
3	図解でわかる労働者派遣 いちばん最初に読む本	1800円	2016年1月
4	労働時間を適正に削減する法	1600円	2016年6月
5	会社法の基本 いちばん最初に読む本	1600円	2016年10月
6	図解でわかる品質管理 いちばん最初に読む本	1600円	2015年10月
7	図解でわかるNPO法人・一般社団法人 いちばん最初に読む本	2000円	2012年7月
8	生産管理の基本としくみ	1500円	2010年12月
9	図解でわかるリースの実務 いちばん最初に読む本	1600円	2014年8月
10	10分の面談で部下を伸ばす法	1400円	2013年8月

【帳合】トーハン・日販・大阪屋栗田・東京官報

<以下の方々に営業を委託しております>

首都圏エリア:高山 修二 / 関東地区ほか:白川 秀也 / 関西地区:水守 一郎(MITブックサービス) / 関西地区・中国・四国地区:山下 啓(関西パブリケーションエージェンシー)

裏面・1月新刊案内



アニモ出版 1月新刊のご案内

『図解でわかるIoTビジネス いちばん最初に読む本』

「知らなくてもいいや」では済まされない！ ネットを活用した新しいしくみとシステムのすべて

ISBN978-4-89795-197-3

発売日：2017年1月19日搬入予定

神谷 俊彦 編著／滝沢悟・新井一成 著

予価：¥1,600（本体）＋税

体裁：A5判並製・184ページ

最近、新聞や雑誌などで見かけることが多くなった「IoT」（Internet of Things）。IoTとは、簡単にいえば「モノのインターネット」ということですが、具体的には「家電や自動車などあらゆるモノをネットワークでつなげることにより、暮らしがより便利になる」ことをいいます。「そんなこと、自分には関係ないな」と思っている人がいたら、それは大間違いです！

たとえば、ソニーと東京電力は、あらゆる機器がネットにつながるIoTの技術を活用した住宅サービスにおいて業務提携を行ないました。これにより、スマホの遠隔操作によって家電の省エネを図ることができるほか、2017年には高齢者や子どもの見守りサービスを共同でスタートさせるとしています。

IoTの活用により、モノを所有する時代からサービスを利用する時代へと確実に変わります。産業構造や“ものづくり”のしかたはもちろんのこと、暮らしも働き方も変貌していきます。一方でIoTを活用した大きなビジネスチャンスも生まれます。本書は、働くうえでも生活していくうえでも、いまや必須知識といえる「IoTビジネス」の基礎から応用までのすべてを、図解を交えてやさしく解説。最新の動きに遅れないためにも、とにかく本書を読むべし！

【本書の構成】

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1章◎「IoT」とはいったい何か | 4章◎IoTによる“ものづくり”改革とは |
| 2章◎いま、IoTは世界でどこまで進んでいるか | 5章◎IoTで暮らしも働き方も産業も変わる！ |
| 3章◎IoTを支える技術にはどんなものがあるか | 6章◎使えるIoTをビジネスとして実現させる方法 |

※なお、タイトル、価格等は予告なく変更することがあります。ご了承ください。